



MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

Vol.27
2016.5



卒業式



入学式



卒業式



入学式

Contents

あいさつ・トピックス	1
教職員紹介	2
インタビュー.....	3
大学の出来事.....	4
データでみるみかんだい.....	5
EVENT INFORMATION	6

トピックス	連携協力協定病院ご紹介	1
シリーズ	教員インタビュー	3



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

ごあいさつ・トピックス

理事長（学長）ごあいさつ

早川 和生



平成28年度の最初のMCNレポートの発行にあたり、本学の新しい動向について少しご紹介したいと思います。最近は県内外からの本学に対する評価も大きく向上してきており、28年度の入学試験の倍率は5倍以上と非常に高く、入試競争が大変厳しくなっています。これに伴い試験成績も大幅に向上したことが推察されます。また入学生の約7割が県内出身者と例年以上の結果となり、三重県内の高校から多くの優秀な学生が受験してもらったものと大変嬉しく思います。

来年、本学は創立20周年となり、大きな節目の年を迎えます。今までの20年間で培った基盤をもとに、大学としての更なる飛躍をめざしたいと思います。本学は県立大学であり、県内各地域で着実に活躍し、県民から信頼され地域社会で幅広く貢献できる看護専門職を養成するとともに、全国的にも国際的にも活躍し、三重県立看護大学の知名度の向上にも広く貢献できる看護専門職の養成も視野に入れて今後の20年を考える必要があると考えています。

連携協力協定病院で紹介（JA三重厚生連松阪中央総合病院）



松阪中央総合病院は三重県立看護大学と平成26年5月に提携協定を締結いたしました。

当院は、地域支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院などの承認を受け、救急医療とがん治療を中心に松阪地域の急性期医療を担っている病院です。病院の理念である「安全で安心な医療」を提供するために、看護の質向上にむけて看護職の人材育成に力を入れています。

当院の教育プログラムは、一人ひとりが人間性を高め自立した看護職になることを

支援するものです。e-ラーニングなどオンライン教材を活用し、それぞれ成長やキャリアプランに応じた自主的参加型のプログラムとなっています。特に新人看護師には、看護技術の不安を軽減するためのローテーション研修やケアや処置を項目別に担当スタッフが指導する体制など、きめ細やかな教育体制を整備しています。

今後も、学生さんが「こんな看護師になりたい」と思える質の高い看護師の育成をめざして、県立看護大学との連携強化に努めていきたいと思っています。



教職員紹介

精神看護学 准教授 木戸 芳史

精神科救急・急性期病棟での臨床経験の後、現在は精神疾患を抱える方々を地域で支援する技術や諸制度に関する研究活動を行っています。三重での生活は初めてです、お気軽にお声かけください。

地域在宅看護学 助手 森本 裕也

伊勢市で保健師としての経験を積んだ後、アフリカでのボランティア活動やJICAの国際協力事業に携わってきました。保健師、国際協力の魅力を知っていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

老年看護学 助手 竹村 和誠

4月から老年看護学の助手として働かせていただくことになりました。学生たちと共に学び、老年看護の魅力伝えていけるような教員をめざし頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



基礎看護学 助手 黒田 穂奈美

人事交流にて鈴鹿中央総合病院より、実践基盤看護の助手として着任しました黒田です。学生さんへの理解を深め、教職員の方々との連携を図り、自己の学びを深めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

基礎看護学 助手 安藤 千智

人事交流事業で1年間勤務させていただきました。これまで三重県立総合医療センターで看護師として働いてきました。教育の現場で様々なことを学び、吸収したいと思っています。よろしくお願いいたします。



新任教員

森本 裕也

竹村 和誠

木戸 芳史

黒田 穂奈美

安藤 千智

教務学生課長 奥野 進

学生の皆さんの大学生活が充実したものとなるよう、サポートしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

教務学生課 主幹 辻 健一

4月に教務学生課へ赴任しました。学生の皆さんと接する機会が多いので、学生生活が充実したものとなるよう、また、大学がさらに発展するよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

財務監兼総務課長 出谷 元一

4月から事務局の総務課に勤務しています出谷（いずや）です。看護大学が、学生、教職員、地域、県民の方々から愛されるよう、精いっぱい頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

総務課 主幹 林 良充

4月から総務課に赴任してきました。皆さんのお役に立てるよう日々努めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

新任職員



辻 健一

林 良充

奥野 進

出谷 元一

附属図書館

別當 直子 (株式会社 紀伊国屋書店)

3月より附属図書館で勤務しています。利用者の皆様にとって利便性の高い図書館を目指して、微力ながらお手伝いしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

附属図書館



別當 直子

昇任 地域在宅看護学 講師 中北 裕子 (平成27年10月1日付)

成人看護学 講師 長谷川 智之 (平成28年4月1日付)

平成28年3月に退職の教員

【教員】 助教 羽田 有紀
助手 中瀬 貴子

平成28年3月に退職・転出の職員

【職員】 主幹 福井 崇司
企画員 藤谷 美恵
主査 北島 利哉

専門職員 近藤 武
業務職員 河口 正一

インタビュー

教員インタビュー

認知症高齢者の数は2025年には700万人を超え、65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症になると予測されています。

今回は、老年看護学が専門の小松 美砂教授にお伺いしました。

Q. 「老年看護学」とはどのような学問なのでしょう？また研究にあたって、どのような点を重視されていますか？

A. 老年看護とは65歳以上の高齢者への看護を考える学問ですので、高齢者にとって役に立つ研究、高齢者への看護に適用できる研究を行う必要があります。高齢者に関して社会には高齢化や介護、認知症など多くのトピックスがあり、老年看護としても考えていかなければならない課題が多くありますので、自分の研究が社会の要望に応じているかという点を重視したいと思っています。



Q. 具体的にはどのような研究をされているのでしょうか？

A. 認知症高齢者へのケアのあり方について考えています。認知症の特徴は、疾患により知的機能が持続的に障害された状態になり、社会生活に支障をきたすという点にあります。この社会生活に支障が生じることにより認知症高齢者には看護や介護が必要となります。特に認知症には徘徊や物盗られ妄想といった行動・心理症状がみられることがあるため、認知症ケアは“大変”というイメージが強いと思います。

確かに、認知症ケアは大変なことも多いのですが、ただ“大変”で終わらせずに、今後のケアのあり方を考えていくことに意味があると思っています。認知症に限らず超高齢社会の中で、高齢者をどのような存在と捉え、どのような関係性をつくっていくかが重要です。以前、入院又は施設入所している高齢者と看護学生との関係性について研究を行いました。病院や施設に入っているということは何らかの病気や機能低下が生じているわけですから、高齢者はケアを提供される“受け身”な人と捉えられることが多いと思います。しかし私の研究では、学生にケアされる高齢者の受動的な側面だけでなく、学生を気遣い思いやるといった学生に“与える”存在としての能動的な高齢者像を示しました。この研究結果をふまえると、認知症という疾患を有する高齢者の場合も、他者との関係性において同じような特徴がみられるのではないかと考えています。

Q. 今後どのように研究をすすめようと考えていますか？

A. 認知症高齢者へのケアの方向性を考える際に、看護師がケア場面において体験しているのは“大変さ”“困難”ということだけなのか、認知症高齢者とどのようなケア体験をしているのかに焦点をあてた研究を行い、看護師と認知症高齢者の関係性を明らかにしていきたいと考えています。このテーマについて今年度より科学研究費助成事業の助成金を受けることになりましたので、新たな知見を示すことができるよう努力していきます。

大学の出来事

平成28年度 看護学部・大学院入学式

平成28年4月4日(月)に、平成28年度の本学看護学部及び大学院看護学研究科の入学式を挙行政いたしました。



看護学部では、難関を突破した104名を新入生として迎えました。また、大学院看護学研究科では、5名が入学しました。新入生を代表して、野々廣香南さんが、入学の決意を宣誓しました。教職員一同、全ての新入生が充実した大学生活を送ることができるようにサポートしていきます。



平成27年度 看護学部卒業式・大学院修了式

平成28年3月19日(土)に、平成27年度の看護学部の卒業式及び大学院看護学研究科の修了式が行われました。当日は、三重県知事をはじめ多数の来賓の方にご臨席いただき、看護学部生



92名、大学院生4名が新たな一歩を踏み出しました。看護学部最優秀生として、鈴木優菜さんが表彰されました。



また、卒業生及び修了生の代表として、稲垣元美さんが謝辞を述べました。本学の卒業生・修了生であることを誇りに思い、心豊かな人生を築かれることを願っています。

健康コラム



生理学 健康科学
大西 範和 教授

注意したい疲労のお話

入社、入学や転勤などで生活の環境が変わった方も多いと思います。新たに一人暮らしを始めると生活リズムが乱れがちになり、悩みを抱えても家族や友人が近くにおらず、ストレスを発散できないことも多いことでしょう。一昨年本学の公開講座で関西福祉科学大学の倉恒弘彦先生が、疲労は「痛み」や「発熱」と同じ身体のアラームだと仰っていました。疲労を感じて休めばアラームは解除され、次の活動の準備ができたとわかります。しかし、脳の使い過ぎによる中枢性疲労は、緊張していたりすると自覚できないことがあるそうです。アラームが働かないので疲労は更に進み、慢性疲労症候群に陥るリスクが高まります。達成感のある仕事を続けている人にこれによる過労死が多いそうです。若い新人の方がすぐに過労死にまで至るとは考えにくいのですが、「疲労感なき疲労」の怖さは知っておきたいですね。疲労回復には睡眠が最も効果的です。朝陽を浴びて規則正しく生活し、栄養バランスの良い食事を摂りましょう。運動や入浴を活用して入眠をスムーズにし、質の良い睡眠を取りたいものです。



データでみるみかんだい

平成28年度 三重県立看護大学 特別入試及び一般入試合格者等の状況



- (1) 特別入試 地域推薦入試B：平成27年11月7日(土)
 地域推薦入試A・帰国子女入試・社会人入試：平成27年11月21日(土)
 地域推薦入試C：平成28年2月6日(土)

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域推薦入試A	30名(地域推薦入試Bの5名程度を含む。)	91名	91名	28名	28名
地域推薦入試B	5名程度	10名	10名	4名	4名
地域推薦入試C	5名	22名	22名	5名	5名
帰国子女入試	若干名	0名	0名	0名	0名
社会人入試		3名	3名	0名	0名
合計	35名	126名	126名	37名	37名

- (2) 一般入試 前期日程：平成28年2月25日(木)
 後期日程：平成28年3月12日(土)

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	50名	194名	182名	56名	52名
後期日程	15名	177名	76名	15名	15名
合計	65名	371名	258名	71名	67名

- (4) 志願倍率

入試区分		H28	H27
特別入試	地域推薦入試A	3.4	3.5
	地域推薦入試B	4.4	2.0
	計	3.5	3.3
一般入試	前期日程	3.9	5.7
	後期日程	11.8	16.1
	計	5.7	8.1

- (3) 学部合計

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
看護	100名	497人	384人	108人	104人

※志願者数÷定員で算出。小数点第2位を四捨五入

国家試験対策について

平成27年度の家試験は、看護師2月14日、保健師2月16日、助産師2月17日に行われました。本学では全員の合格をめざして様々な学習のサポートを行っています。平成28年度は、3年時の低学年模試、4年時の看護師模試4回、保健師模試2回、助産師模試3回および外部業者の補講を9月と10月に計画しています。さらに後期には本学教員による国家試験対策中心の授業を開講予定です。学生の家試験対策委員も活躍してくれています。学生、教員が一丸となって取り組んでいます。

	看護師	保健師	助産師
受験者数	92名	92名	12名
合格者数	91名	85名	12名
合格率	98.9%	92.4%	100.0%
全国合格率(新卒者)	94.9%	92.6%	99.8%

就職状況 平成27年度卒業生の就職状況です。

就職状況

看護師：70
 保健師：5
 助産師：12
 その他：1
 進学：3
 未定：1

主な県内就職先

日本赤十字社 伊勢赤十字病院
 独立行政法人 三重県立総合医療センター
 社会福祉法人 恩賜財団済生会松阪総合病院
 独立行政法人 国立病院機構 三重病院
 三重大学医学部附属病院
 伊賀市立上野総合市民病院
 独立行政法人
 桑名市総合医療センター 桑名東医療センター

主な県外就職先

名古屋市立大学病院
 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
 名古屋大学医学部附属病院

県内就職 44名
 県外就職 44名
県内就職率 50.0%

EVENT INFORMATION

みかんだいオープンキャンパス

日時：平成28年7月30日(土) 10:00～
場所：三重県立看護大学

みかんだいオープンキャンパスでは、三重県立看護大学での学びをより深く知っていただけるよう、今年度より新たに、本学の教員が実際に授業を行う「講義体験」を行います。また、本学の学生や教員に個別で相談できるブースや、看護の体験ができるブースなどを設けます。ぜひこの機会にご参加ください。

津駅西口から本学までの無料シャトルバスを運行します。詳しい内容や参加申し込み方法等については、本学ホームページをご覧ください。



高校生のための看護職キャリアデザイン講座

ステップ2 「一日みかんだい生」

日時：8月17日(水) 18日(木) 19日(金) 10:00～16:00
※3日のうちいずれか1日に参加いただけます。

場所：三重県立看護大学

看護系大学への進学を考えている高校生を対象に、現役の看護職者の方からの講義やワークショップなどを通して、自身の看護職者への適性や将来のキャリア形成についてしっかりと考えていただくための講座です。

申込み方法等の詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

※本講座では、オープンキャンパスとは異なり、施設見学や看護技術体験(演習)は実施しません。
※申込み多数の場合は抽選になります(定員：各日45名程度)。



高校教員・保護者のための看護職キャリアデザインサポート講座

日時：8月17日(水) 10:00～12:00

場所：三重県立看護大学

看護系大学を選択することは、職業を選択することと同じです。この講座では、看護系大学をめざす高校生の進路選択の際の適切なサポートの一助としていただけるよう、高校教員・保護者の方を対象に、看護職や保健医療を取り巻く状況等についてご説明いたします。

平成28年度 キャンパススケジュール

三重県立看護大学の年間スケジュールです。

6/6 (月)～6/17 (金)

マヒドン大学・グラスゴー大学短期研修生来学

7/27 (水)～8/9 (火) 前期定期試験実施期間

7/30 (土) オープンキャンパス

8/17 (水)、18 (木)、19 (金) 一日みかんだい生

9/3 (土) 平成29年度大学院入試(一次募集)

9/5 (月)～9/16 (金)、9/26 (月)～10/7 (金)
基礎看護学実習Ⅱ

9/10 (土) 教育懇談会

9/26 (月)～10/7 (金) 国際看護実習Ⅱ

9/26 (月)～11/4 (金) 領域別看護学実習

10/11 (火) 後期授業開始

11/14 (月)～12/22 (木) 領域別看護学実習

11/19 (土) 平成29年度特別入試(地域推薦A・B)

12/3 (土) 平成29年度大学院入試(二次募集)

12/23 (金) 卒業研究発表会

1/10 (火)～1/20 (金) 領域別看護学実習

1/23 (月)～3/3 (金) 公衆衛生看護学実習

1/31 (火)～2/15 (水) 後期定期試験実施期間

2/4 (土) 平成29年度特別入試(地域推薦C)

2/25 (土) 平成29年度一般入試(前期日程)

3/12 (日) 平成29年度一般入試(後期日程)

3/19 (日) 卒業式・修了式



附属図書館からのお知らせ

平成28年4月よりメールマガジン『オレンジレター』の配信を開始しました。休館日のお知らせや新着図書のご案内、展示コーナーの特集紹介など、附属図書館の最新情報をお届けします。メールマガジンは毎月25日に配信します。下のQRコードからご登録をお願いいたします。

メールマガジンでのご案内に加えて、本学のFacebookページ (<https://www.facebook.com/mikandai0508>) や学内掲示板でも、附属図書館の情報をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

これからもより便利で親しみやすい図書館にしていきたいと思っております。皆様のご利用をお待ちしております。



第一回 公開講座のお知らせ

「看護のものづくりと人間工学」

一般社団法人日本人間工学会

公立大学法人三重県立看護大学 地域交流センター共催

開催日時 平成28年6月25日(土) 13時20分～14時20分

場所 三重県立看護大学

プログラム

講演「看護のものづくりと人間工学」

講師 川口 孝泰 先生 (筑波大学医学医療系・教授・保健医療学域長)



参加は無料です。参加を希望される方は、三重県立看護大学企画広報課まで、電話、FAX、E-mailのいずれかでお申し込みください。

※定員(400名)に達した場合、お申し込みを締め切らせていただく場合がございます。

※当日の参加受付は、定員に余裕がある場合に行います。

「お問い合わせ・お申し込み先」

公立大学法人三重県立看護大学 企画広報課

TEL : 059-233-5669 (企画広報課直通)

FAX : 059-233-5666

E-mail : kikaku@mcn.ac.jp



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人

三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600 (代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>

